

事業計画事例～Web・モバイル編

事業計画事例では、開業レポート2012のアンケート調査やインタビュー取材でヒアリングした数字をもとに、起業して成功している会社のリアルな事業計画をサンプルとして作成しました。これから起業・独立する方は是非ご参考ください。

1. 開業資金と開業費用

まずは開業資金と開業費用です。Web・モバイル関連事業の特性として、開業時の資金はあまり必要ないことがあげられます。サンプルでは自己資金200万円だけで開業資金を設定しています。

開業費用の内訳は、事務所契約費用に15万円、前家賃で15万円、保証金が家賃3カ月分として45万円。パソコンやプリンターなどのOA機器で40万円、机や椅子などのオフィス用品で10万円、文房具や事務用品等で5万円。仕入れは必要ない業態ですが、サービスを提供するサーバの契約費を1万円を計上。会社設立費用を30万円として、しめて161万円。個人で使用しているパソコンでよければ、開業経費は更に少なくすみます。

開業資金	200万円
内訳	200万円(自己資金)
	万円(借入)
	万円(その他)

開業費用	161万円
店舗賃貸契約費	15万円
店舗保証金	45万円
店舗前家賃	15万円
事務所・店舗費用(工事費など)	万円
厨房機器・空調機器など	万円
店舗用品など	万円
オフィス用品など	10万円
OA関連機器など	40万円
文具・事務用品など	5万円
その他(初期仕入れ費用)	1万円
会社設立費用・開業諸経費	30万円

2. 売上、経費、利益

	初年度	2年目	3年目	
売上(年間)	1,000万円/年	2,000万円/年	3,000万円/年	
経費 (1カ月単位)	原価	24万円/年 (2万円/月)	48万円/年 (4万円/月)	72万円/年 (6万円/月)
	人件費	300万円/年 (25万円/月)	600万円/年 (50万円/月)	900万円/年 (75万円/月)
	役員報酬	300万円/年 (25万円/月)	480万円/年 (40万円/月)	600万円/年 (50万円/月)
	家賃等	180万円/年 (15万円/月)	180万円/年 (15万円/月)	180万円/年 (15万円/月)
	水道・光熱費	36万円/年 (3万円/月)	48万円/年 (4万円/月)	60万円/年 (5万円/月)
	広告宣伝・販促費	60万円/年 (5万円/月)	120万円/年 (10万円/月)	180万円/年 (15万円/月)
	その他営業諸経費	60万円/年 (5万円/月)	60万円/年 (5万円/月)	60万円/年 (5万円/月)
	借入金の返済	万円/年 (0万円/月)	万円/年 (0万円/月)	万円/年 (0万円/月)
利益	40万円/年	464万円/年	948万円/年	

次の売上、経費、利益を見てみましょう。

売上は1年目で1000万円、2年目で2000万、3年目で3000万円という試算です。

1年目の経費と利益ですが、主な経費となる人件費は年300万円/月25万円、事務所家賃が年180万/月15万円、広告宣伝費は年60万/月5万円、光熱費は年36万/月3万円。原価として計上しているのはサーバ代として年24万/月2万円程度。役員報酬を年300万/月25万を計上してありますが、事業が軌道にのるまでは、社長の給与は無しとすれば、経費はもっと圧縮できます。こうして計画していくと、1年目では40万円ほどの利益が残りますが、2年目で464万円、3年目で948万円と利益はどんどん大きくなります。

借入金もないので返済負担もなく、事務所も毎年大きくする必要もなければ、スタッフが増えた分の人件費だけを見ていけばよいので、とにかく売上を出せるサービスさえ作れば、事業計画的にはあまり難しい管理ではないでしょう。この計画では、安全率が8.72とかなり余裕のある数字になっています。